

早くも研修は6日目を迎えました。今日も研修地の空は良く晴れていますが、到着日ほどの暑さは感じられず朝晩は冷え込む日が続いています。そんな中郡高生たちは今日も元気よく登校してきました。大きく体調を崩している生徒もおりません。往々にして心配される「食べ物」の問題も、皆それぞれおいしくもりもり食べているようです。「多すぎて困る」という声はちらほらと聞こえてきますが・・・それもはっきりと自分から意思表示をしていく必要があります。1度で駄目なら2度3度、ためらわず伝えることが肝心です。

今日は生徒が朝集合した際に、これまでの振り返りとこれからの研修に対する意識を持ってもらうために少し投げかけを行いました。昨日のバディとの交流を見ていて、自分たちが創り上げる研修ではなくただ与えられる時間になっていたように強く感じたためです。

そもそも今日が研修何日目だと思うか？2日目、3日目、4日目など何やら様々な観点から意見が飛び出しましたが、全体14日間の行程で既に6日目、中盤を迎えています。昨日からスクールに通い始め、研修が始まったばかりのような感覚もあるかも知れませんが、もう半分近く終わっているのです。

そんな状況の中、昨日自分から積極的にバディと交流できたと自信を持って言うことが本当にできるか？（わずか数名の生徒が挙手）、バディは適当で、友人同士で会話していたりパソコンをいじっていて話しにくいと感じなかったか？（ほとんどの生徒が挙手）

後者に関しては、生徒達自身が同じこと、つまり現地バディの前で友人同士日本語で会話をしている問題があります。とにかく相手がどうであろうと環境がどうであろうと、やれない／やらない理由を言い出したらいくらでも溢れてきます。「何をしてもらえるのだろうか？」という受け身の姿勢から今すぐに脱し、自分がこうしたい、こうしなければいけないという思いを遠慮せずにどんどん行動に移して欲しいこと、その一步を踏み出さなければ、研修に参加した意味が半減してしまうことを伝えました。

はたして今日もCassandra先生、Paula先生によるレッスンからスタートし、Morning Tea Breakを挟んで急ぎょLCCの礼拝に参加することができました。礼拝というと堅苦しいですが、広い体育館のような施設でステージ上のバンドセット（キーボード、ドラム）を先生が演奏、LCCの生徒がステージ上で聖歌をノリ良く歌い、さながらライブのような集会でキリスト教を生徒に親しみやすく理解させている様子でした。

その後、Muktiという社会貢献団体の講演がありました。Muktiとは貧困や虐待、ハンディキャップに苦しむ女性、子供、高齢者の方々を支援する団体で、オーストラリアを含め6か国で活動を行なっているそうです。インド人の女性が120年以上前に創設した背景があり、宗教等関係なく善意で他人や社会に奉仕するということを生徒に考えさせる目的があったのかと思います。講演内容は難しかったと思いますが、生徒にはぜひ自分でもこのMuktiのことを調べてもらいたいと思います。

その後は、現地授業やランチなど終日バディと過す一日でした。朝の投げかけがどう生徒達の中に入って行ったのか気になるころでしたが、ランチや休み時間の様子を見てみると昨日までとは違い積極的に関わろうとする様子が見て取れました。

自然に笑顔で会話しながらバディと2人で移動をしていたり、ランチの時も郡高生と現地生がそこかしこで交流を楽しんでいました。

1日が終わって感想を聞いてみると、「今日は本当に楽しかった。たくさん交流した」と充実した表情で語ってくれました。勇気を出して最初の一步を自分から踏み出すことは決して楽な事ではありません。しかし楽を脱し挑戦したその先にしか「楽しさ」はないということ、それぞれが今日の小さな成功体験を通して実感したので

はないでしょうか。

しかし郡高生の力はまだまだこんなものではありません。生徒達もまだ知らない自分たちの本気を、この研修で存分に発揮して欲しいと思います。大きな成長に向けてまた明日以降全力でサポートして参ります。

以上、研修 6 日目の報告と致します。



《 今日も全員元気に登校しています 》



《 LCC の礼拝に参加。バンド演奏もあり賑やかです 》



《 1人ひとりが自分のバディと合流 》



《 現地授業の様子 》



《 バディとの交流 》



《 バディとの交流 》